

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2013 January

01

Vol.558

03 **【特集】新春座談会**
創立50周年、
2300名会勢を目指して

06 **21世紀型 自立型企业づくり**
われら『ものがたりカンパニー』
～商いは次の世代からの預かりもの～
株式会社 梓書院

09 ようこそ同友会へ

10 青年経営者がつながり学び 日本を動かそう!

12 1月行事案内

14 新商品ご紹介

15 第8回 理事会報告



よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう

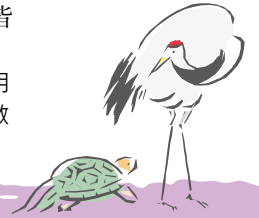
同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。新しい意欲に燃えて新年を迎えられたことと思います。本年は巳年。巳という字は、胎児の形をした象形文字で、蛇が冬眠からさめて地上にはい出す姿を表していると言われ「起こる、始まる」との意味があるとも言われています。私たち同友会は、本年50周年を迎えます。4月25日(木)ホテル日航福岡に於いて50周年記念式典、記念総会を行います。先輩経営者の幾度も激浪にもまれながらのご苦勞に感謝し、同友会理念と伝統を守り100周年に向けての第一歩が始まります。厳しい経営環境に打ち勝ち地域を発展させるべく5000名の会勢を夢んでいます。

同友会運動と企業経営は不離一体。蛇が脱皮することく、お互いに「^{せいへん}蛻変の経営」、時代の変化や環境の変化に適応すべく古い経営の仕方や形式から脱皮し、新しい一步を踏み出しましょう。皆様のご繁栄とご多幸を心から祈念致しております。

代表理事 中村 高明
中山 英敬
田浦 通



はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



株式会社 梓書院
代表取締役社長
田村 志朗 氏
(福友支部)

(株)梓書院の田村社長は、福友支部の若手のホープで現在、副支部長という大役を担って、ベテランから新会員さんまできめ細かく接し支部を盛上げていらっしゃいます。時に、鋭い突っ込み、時に、斬新なアイデアと支部にはなくてはならない存在です。現在、ハマっているのが、ウォーキング、2年連続100kmを完歩する程本格的です。その苦しみと達成感、諦めない気持ち学べ、今後も一生続けたいとのこと。その考え方の根底には座右の銘である「あなたが虚しく過ごした今日という日は、昨日死んでいった人が、あれほど生きたいと願った明日」(「カンコギ」 趙昌仁-)が大きく影響し、日々を大切に、やるべき事をしっかり実行、無駄にしない生き方を目指しているとのことです。夢をお尋ねすると、一人一冊の本を、その人の「オンリーワンものがたり」を出版できるようにお手伝いがしたい、そして、元来の出版会社から「ものがたりカンパニー」としての存在を確立していきたいとのことです。

記事：田中 伸介

今月の表紙



「真心こめて」を社是とし、創業50年。山田屋では、結婚式という「文化」の伝承を担ってきました。この唐織の白無垢は、山田屋の想いの詰まった1着です。唐織とは、中国から渡来した織物が融合し生まれた装飾性の高い絹織物。めまぐるしく移り変わる現代に、古来から受け継がれる高度な技法を施した花嫁衣裳を身に纏う幸せを、これからも伝え続けていきます。



「私の逸品」 唐織の白無垢

(株)山田屋 代表取締役社長 中村 クミ 氏

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真をご募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成25年3月号は平成25年2月1日必着
投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
もしくは a_satou@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。
※表紙に目次が入るため、写真に文字が入ります。ご了承ください。

創立50周年、2300名会勢を目指して

景気が低迷する中、迷走する政治経済、先行きが見えにくい環境だからこそ、中小企業家同友会が求められると、そんな感慨を持って50年の節目を迎える福岡同友会は2300名の組織を目指し増強に取り組んでいます。そこで3代表理事に増強の意義、戦略的な取り組み、そして今年度掲げたスローガン「全社一丸の強じんな企業づくり」の実践について語っていただきます。



出席者

なかむら たかあき 代表理事 創立50周年記念事業全体統括
 中村 高明氏
 たうら とおる 代表理事 会員増強戦略本部長
 田浦 通氏
 なかやま ひでたか 代表理事 中小企業憲章推進本部長
 中山 英敬氏

司会

さだいけ たつひこ
 貞池 龍彦氏
 広報情報化推進本部副本部長

1、50周年の取り組みと会員増強の意義と取り組みについて

貞池 今年度の増強は50年の節目の年を迎えるにあたって組織的な取り組みがされています。まず初めに田浦さんよりその取り組みについて触れていただき、さらに増強の意義についておさらいをしておきたいと思っています。

田浦 これまでの会員を増やす運動は会員による紹介が中心でした。そこに頼ってばかりでは、具体的に動きが見えてきません。例えば戦略的に広報を強化するという手段があります。メディアを積極的に利用して成功をしている他県の事例もありますし、最近ではホームページからの入会も徐々に増えてきています。やはりどのような会の存在を中小企業家の皆さんに知らしめるかがポイントだ

と思います。同友会を知ってもらい取り組みとして行ったあすなる塾のオープンセミナーは入会に結びつき、ある会員は受講をきっかけに退会を取りやめたという話も聞き及びました。組織的に増強を行うという活動は徐々に取り組めてきています。

貞池 増強の意義についてはどうでしょうか。

田浦 増強の意義については「同友会運動の発展のために」に1、同友会の理念に共鳴し理念実現を目指す企業を増やし、地域の雇用と発展を保障する 2、会員が増えることで辞書の1ページを増やす 3、会内に新風が吹き、会が活性化する 4、中小企業の社会的な地位を高める と、書かれています。少数であれば行政も政治的な観点から取り合ってもらえません。30年後には人口が30%減少します。すると30%の企業が減ることになります。生き残るためには、企



業づくりをしつかりするためにも学びと実践が必要になるのです。そのような点で会員の皆さんが増強の意義を深めていくことが求められます。

2、中小企業問題全国研究集会、50周年記念式典に向けて 戦略的な広報活動へ展開

貞池 この間50周年の事業に取り組むことにより同友会を広く地域にアピールしてこられました。中村さんよりその取り組みについて触れていただけますか。

中村 私たち個々の企業において、既存のお取引先、地方自治体、金融関係、学校、あるいは新規のお客様に対し、企業の存在を知っていただく広報活動が重要であるのと同じように、同友会もその存在を県民に一人でも多く知っていただく活動が非常に重要です。同友会でこれまで取り組んだ「スマイルアゲイン」はマスコミ取材が殺到するなどニュースソースは十分にあったと思います。「映画『ふるさとがえり』上映会」は林監督や経産局の松田課長を交え、パネルディスカッションを行い多くの方と地域づくりを考えました。しかし動員という点では反省が残りました。情報創造という観点から、もつと知っても

らう仕組みづくりを意識していく必要があると思います。そういった点で、会内の組織強化ツールでもあるe・doyuを活用した景況アンケート調査や知事へ直接政策提言、そしてマスコミ発表は効果的です。

中山 今回の政策提言は今までと違う手ごたえを感じました。「スマイルアゲイン」での行政団体との関係強化もあり、今回は小川知事みずから提言に対し「回答をさせていただきます」と言われました。これまでは知事がみずから回答に触れることはありませんでしたので、あきらかに行政の同友会に対するスタンスが変わったと思います。

貞池 それは活動の積み重ねの成果でしょうね。中山さんはこれまで中小企業憲章の推進本部として5年以上取り組んでこられました。憲章を推進するという立場からこの増強の問題をどのように捉えているでしょうか？

中山 中小企業憲章には「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。」と明記されています。



貞池 龍彦氏

これは、中小企業が主役であるから、その自覚を持って果敢に挑戦、努力してください。そういう企業を応援しますという事です。この先、中小企業は自立型企業に挑戦しないと生き残ることはできないでしょう。同友会では、労使見解をベースに経営指針に基づく経営を学び、企業づくりを実践しています。このように学びと実践で結果を出そうとしている団体は他にはありませんから、同友会の仲間を増やす意義はとても高いと思います。

田浦 会員をお誘いすることは最高の社会貢献とおっしゃる方もいます。また福友支部では人命救助ともいわれています。やはり増強により組織率を高め発言力を高めていくことが中小企業憲章の国会決議に結びつくのではないのでしょうか。

貞池 ありがとうございます。それでは引き続きこれからの展開について語っていただきたいと思えます。

中村 少子高齢化、産業の空洞化、中問題、エネルギー問題と経営の存続が危ぶまれる事態と言っても過言ではありません。そこで全研では、どの分科会を選んでいただいても学びを得られるタイムリーな企画になっています。また50周年記念式典は企業30周年説が唱えられる中において会が50年続いたこと、そして次の50



中村 高明氏

年を発展していくための新たな戦略を立てる機会にさせていただくことが必要です。

中山 記念講演は「ふくや」の川原社長にお願いしました。戦後間もない中小企業がまだ悲鳴を上げる時代に、小さな商店の「ふくや」がおいしい明太子を開発し、みんなで一緒にやろうとノウハウを公開したため多くの明太子メーカーが誕生し、福岡を代表するブランドに成長されました。これは我々が目指す地域と共に、地域ブランドとしての自立型企業の模範です。

貞池 それでは田浦さん、全研まで残すところわずかとなりました。目標達成に向けて今後の取り組みをお聞かせください。

田浦 会員を増やすことも大切ですが同時に減らない組織も重要です。会員の満足度調査を定期的に行って不満な点を潰していくことで満足度を上げ退会を減らす努力が必要です。また、会員企業が黒字企業を目指すわけですが、黒字になるためにトツ

プ自らが学び、社内にも学んだことを落としてこむ、そのためには中堅社員の賛同が必要です。今後は様々な会合で中堅社員が学べるチャンスも提供する必要がありますと思っています。

また2000名の組織になると会活動の中心に立っている会員と一般会員との会活動に対する温度差がありますね。同友会運動をいかに会員の隅々にまで伝えるか、そのためにはアメンバー経営の考え方を取り入れ、年に一回の役員研修を2回実施して活動の積極性を高めていきます。今期はこれまで140名の入会がありました。ところが実際は104名の役員しか動いていません。700名近くいる役員のうち400名の役員がひとりを紹介していただくだけですぐに達成が可能です。リーダーとして理事の情熱が人を動かすし、そのための全面的な支援を今後も行っていきたいと思っています。これから青年部会の動きも活発になります。また地区の分割や支部の再編も考え大きな組織から100名程度の顔の



田浦 通氏

見える組織づくりで活性化をさせていきたいとも考えています。

3、新しい年を迎え、各社の情勢分析と対応について

貞池 新しい年を迎えましたが、経営環境は大変厳しいものと予測されています。そこで、各社がどのように情勢を分析しそれに対してどのように手を打たれているかをお聞かせください。

中村 製造業は中国問題でトヨタ自動車九州が減産、安川電機も台湾にモーター製造を移すなど大打撃の状態です。私共はお客様の数は間違いなく減ると予測して、営業のテリトリーを広げざるを得ないと考えメーカーと組んで毎月九州生産技術セミナーを独自で開催し、見込み客づくりを展開し新規開拓を進めています。このセミナーは来年3月で40回を数えます。また、現在産業ロボット教室を開いています。今度は旋盤フライス盤の基礎教室を開きます。これはコンピュータで動かすNC旋盤やマシニングセンターなどプログラムさえ組めば部品加工ができるのですが、工場メンテナンスの際の少ロットの部品を加工できる技術者が少なくなっていますので、機械加工の基礎



中山 英敬氏

技術を身につけてもらうため、製造業の人材を対象にしています。ゆくゆくは紀之國屋テクニカルセンターを目指しています。

中山 モノが売れにくくなり、従来からの広告媒体の販促効果が極端に低下してきました。モノが売れる条件は商品力だと思っている方も多いかと思いますが、良い商品は市場に出せる条件であり、売れる条件ではありません。売れる条件は、人の対応力によるところが大きいと思っています。健康食品の通信販売では、コールセンターで対応する人の対応力に重点をおき、弊社では人材育成に全力を投入しています。結果として、毎日たくさんのお客様から、お礼のハガキや手紙が届きます。その内容のほとんどが、電話の応対がよいとお褒めの言葉が書かれています。ここまでしてもらえるととは思わなかったと、贈り物まで届きます。このように人の対応力で付加価値を高め、競合台激しい中でも競争優位に展開しています。

石油の高止まり、若年労働力の確保ができないなどですね。そこで当社では付加価値が高い病院関係の物流を担いそのためのメディカルドライバーの育成に取り組んで3年目になっています。いまでは大きな商談をいくつも抱えおそらく4〜5年先は売上の50%はシェアするようになると思っています。今年も共同求人です3名の新卒を採用しました。今後人材育成に地道に取り組んでいきたいと思っています。

中村 私共も新卒を毎年採用しています。今年度は3名採用しましたが、来年度は未だ確定していません。

中山 弊社でも新卒は2名を目標に毎年必ず採用をしています。今年はいこれまで私の夢だった社員の子供が入社をします。嬉しいですね。

貞池 長時間にわたってありがとうございます。労使見解で謳われている人を活かす経営の実践、経営者の経営責任をしっかりと果たされ同友会の学びと実践を繰り返されていることがよくわかりました。わたしたちを代表するお三方の取り組みを我社の実践に置き換え、自社の成長を通してお取引先やお客様に同友会の輪を広げることが大切であることがわかりました。ぜひ我々会員の決意としたいところです。ありがとうございます。

文章・写真担当 佐藤 愛

われら『ものがたりカンパニー』

商いは次の世代からの預かりもの

図書出版がメインの(株)梓書院。一般書、ビジネス書、記念誌・広報誌・同人誌の制作が主な出版物ですが最近ではマンガ事業・ホームページ事業・電子ブック事業・ブランディング事業などの分野にも力を入れています。このような事業展開をされている経緯をお伺いしました。



株式会社 あずさしよいん 梓書院

代表取締役社長

たむら しろう
田村 志郎 氏

福友支部

創業 1972年12月
住所 福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハウス3F
電話 092-643-7075
社員 8名
<http://www.azusashoin.com>

母親への思い

今回の取材は(株)梓書院代表取締役社長の田村志朗さんです。

昭和47年12月に母親の明美さん(現・代表取締役会長)が(株)梓書院を創立。もともと明美さんは東京書籍という出版社の福岡支店に就職し、そこで知り合った女性仲間2名と共に福岡の老舗出版社『葦書房』(古本商の葦書房とは別)を立ち上げます。その後独立し、現在の梓書院が生まれました。

それから40年、九州の出版文化の向上に貢献してきました。「40年の信頼と実績がわが社の強みです」と田村志朗さんは語ります。ちなみに「梓」という字には「出版」という意味があり、出版することを「上梓」と言います。

取材 月刊同友編集部
文章 菅原 弘
写真 間々田 正行



社内の様子。社員さんとは毎週2時間かけて経営指針書の進捗を確認しています。

明美さんは、文字通り社長業・社員の面倒・祖父母のお世話そして母親と一人何役もこなしていました。また幼い頃の不慮の事故により、右足がありませんでした。

「幼い頃、友達には家に帰るとお母さんと一緒に過ごしているんですけど、うちには母がいませんでした。子供心にも寂しくて、恨んでもいましたね」と田村さん。しかしある日、真夜中に目を覚まし一条の光が漏れる部

屋を覗くと、母親が義足を外してクッションを塗りながら原稿の校正の仕事をしていました。「これにはショックを受けましたね。それ以来自分も甘えてはいけなと思います」。

田村さんは学業に励み高校では生徒会長を務めるなど自分なりに頑張りました。英国シティ大学で経営学を専攻しました。学業の間にはアルバイトをして生活費を稼いでいました。平成12年に卒業して後継者として梓書院に入社するのです。

居場所がない・・・

当時は4人のベテラン社員がいました。「母は出版人としては一流ですが、経営はあまり得意ではなかったのかもしれない。そこに社長の息子が入ってきて、英国仕込みの経営学を語り始めるものだから、社員は快く思うはずがありませんよね」。気概ばかりが空回りして社内ですべてに『浮いて』しまいました。社内に居場所がなくなり「外回りしてくる」と言っては喫茶店に逃げ込んでいました。

『居場所探し』のため、田村さんとはある異業種交流会に参加してみました。そこで客観的に自分を見つめることができたと言います。「現実と向き合おう」と心に決めたのです。

改めて自社を見ると、出社時間が社員によって違う、個人プレーで誰が何の仕事をしているのかわからない、目先の仕事ばかりで納品が終わればフォロワーは一切しないなど社内がバラバラで会社の体をなしていないことに気づきました。

社内改革に取り組み

そこで田村さんが取り組んだことは、『情報の共有化』でした。具体的には社内会議の定期開催と業務日報の徹底です。また、参加した異業種交流会では諸先輩からいろいろとアドバイスをいただきましたが全て真似することはできないと判断し、試みたのは『逆の否定』でした。

例えば「朝早起きして誰よりも早く出社する」という社長さんがいました。これを即実践するにはハードルが高く感じられますので、まずはその逆を考えます。「朝遅く起き、遅く出勤する」とどうなるのか？当然社員さんから信用されなくなります。したがって、「少なくとも遅く起きないようにはしよう、遅く出勤することはいらないようにしようと考え、行動に移すことに」。このことは社員にはよく理解されるようになったそうです。しかし田村さんの本音は若い社員には早く出社してもらいたいというところがありました。「昔か

ら仕事は盗んで覚えると言われたものです。若い社員は早く出社して掃除などを済ませ、先輩社員がすぐに仕事ができる環境をつくれれば、自ずと仕事を覚えるチャンスができるはずです。これは母の姿勢から学んだことです」。

さらに会社の会計状況を公開しました。コスト意識を持たせるためでした。そうしているうちに新陳代謝が始まりました。肌合わない社員が2名会社を去っていったのです。

事業承継 そして同友会入会

平成19年(35期)、田村さんは2代目社長に就任しました。29歳の時です。直後に知人の勧めで同友会に入会しました。

同友会では積極的に役職を引き受けました。ユニバーサル委員会副委員長、ブロック長、プレスリーダー、そして現在は副支部長です。同友会活動・営業・編集・社長業と多忙を極めてきました。そこで「社内ではプレイングマネージャーから脱却して、経営に専念しよう」と決めました。社員は8名になっていました。「今も編集の仕事は好きですし、誰より早くこなせると思います。しかし社員に任せることにしました」。そして経営者として冷静にビジョ



「季刊邪馬台国」は1979年7月に創刊し、現在も年4回刊行しています(左)
マンガ部門ではセミプロのマンガ家さんと連携し様々なタッチのマンガが描かれます(右)

ンを考えたとき、「出版」にばかりにとらわれていたのでは先が見えない、経営形態を変えていこうと経営判断したのでした。その理由は出版業界の特異性にあるのでした。

出版業界の特異性

本は出版社から取次業者を通して書店に卸され消費者(読者)にわたります。出版社が定価を決め一定の掛け率で卸されていきます。再販

防止制度により値引き販売はできません。そして卸していくことで一度売り上げを計上できますが、売れなければ返本され売り上げは返金されます。書店は委託販売の場であり、「いい本よりも売れる本」を置きたいという要求があります。これは田村さんが本意とすることではありません。

ネット書店が急激に売り上げを伸ばしています。自宅に居ながら購入できること、品数が揃っていること、検索機能ですぐに欲しい本が見つけれれることなどの利便性が受けています。インターネットの普及で知識を得るメディアは「本」だけに限らなくなってきました。

また従来出版社が依頼していた印刷業者が書店を傘下に取り込んだり、別メディアへ進出したりなど業界が再編成されています。(※大日本印刷はジュンク堂・丸善を子会社に、小学館集英社は映画・アニメに進出している。また紙媒体だけでなく電子書籍にも積極的に取り組んでいる)

「出版社という考えに固執していいはメシが食えないなと思いました。事実、東京では出版社が(固定費を払えずに)倒産しています」と田村さんは話します。

ものがたりカンパニー

田村さんは同友会の経営指針セミ

ナーに参加しました。セミナーの中で報告者である林田浩暢さんが言われた(貧)若竹屋酒造場の社訓「商いは次の世代からの預かりもの」という考え方にいたく感動したと言います。企業存続のために真剣に考えました。

『本ありき』ではない。その本質は何なのか考えたとき、田村さんは作り手・読み手に『ものがたり』を提供することだという結論に達しました。そこで経営理念を「梓書院は『もの』を売るのではなく、『ものがたり』を提供する『ものがたりカンパニー』とし、従来の『出版』中心の考え方から『ものがたり力』を中心に据え、お客様(作り手・読み手)のものがたりを具体化させる方法を社員全員で考えました。取り組みとしては本来得意であった出版部門は『自費出版』から『企画出版』の比重を増やすこと、さらにマンガ・ホームページ・電子ブックなどへの展開でした。マンガは人物に焦点を当て町おこしに一役買っています。ホームページは書籍の可能性を提案しています。電子ブックは利便性がよくコストも削減でき将来の需要が見込めます。「これらの活動は『ものがたり』の具現化という軸からなれています」と田村さんは語ります。理念・ビジョン・計画・戦略を経営指針書に作り込み、毎週月

曜日2時間ほどかけて進捗状況を確認しています。

永続企業を目指して

改めて母親に対する思いをお聞きしました。「私を生んでくれてありがとう。会社を作ってくれたこと、そして私を継承者の対象として考えてくれたこと、実際に継承してくれたことに感謝です」。

取材の最後に田村さんが考える『自立型企業』についてお伺いしました。「自分で立つのは当たり前ですよ。そこからどう歩み出すか。内的・外的要因に惑わされずに常に改善を図って永続を目指す会社だと思います」。

そして趣味のウォーキングになぞらえてこう続けてくれました。「私は毎年100キロウォーキングの大会に参加しています。今年も完歩しました。途中60キロくらいがきついですよね。でも自分でゴールを決めたんだから言い訳しません。会社も同じ。永続企業を目指します。これが私の決めたゴールです。まずは100年企業。私が35期で受け継いだので35年受け持つとして70期で次の代に引き継ぎたいですね。『商いは次の世代からの預かりもの』です」。

取材協力ありがとうございます。

WELCOME Fresh our partners

新入会員ご紹介

同友会へ
ようこそ



一般社団法人 **KAISA SB研究所**
教育と雇用の一体化。
心豊かな生活作り。
就職支援・企業の採用支援。

福岡市中央区天神2-14-38 伊藤ビル2F
TEL 090-5297-7325

代表理事(会長) **中井 作次** (福友支部)

IT業界・教育業界(麻生塾)の勤務経験を活かし、若年者(新卒・既卒)の教育と就職サポートを行う会社です。紹介者は、株式会社クロスアビリティズの安藤さん。

同友会会員の“学ぶ”経営者から学ぶことが多く、心より感謝しています。

より多くの「企業と人財のマッチング」への寄与と自身は3年以内に経営指針書を作成することが目標です。

今後とも宜しく願いたします。



まなびの家
子どもをやる気にさせ
自ら努力する人に育てることを
目的にしている学習塾です

福岡県糟屋郡篠栗町乙犬991-3
TEL 092-957-4774

代表者 **柿本 修** (かすや支部)

糟屋郡篠栗町で2012年3月より、小学生から高校生まで対象の学習塾を運営しています。やる気を引き出し、自ら勉強する生徒に育てることを目標として日々指導しております。

会員の岡部税理士よりお誘いいただき、経営の勉強のためと色々な人の話を聞きたくて入会いたしました。参加させていただいた会ごとに学びがあり大変感謝しています。これからよろしく願いたします。



株式会社 ヤマダ
小麦粉・ミックス粉、
手延べ素麺等の麺類、米穀、
武田食品製品等の卸業

久留米市東合川1-6-10
TEL 0942-44-1115

後継者 **山田 桂子** (久留米支部)

久留米市で小麦粉・乾麺などの卸をしております。会社の歴史は多少あるのですが、私自身は4月に入社したばかりです。何もかも初めての事に戸惑いながら日々の仕事に追われる中で、黒田剛社長に「経営者としての学びをどこでするのか？」と問われ、すぐに入会を決めました。

経営指針書作成にも取り組んでいきたいと思っています。よろしく願いたします。



ホイストアート 有限会社
各種看板企画・製作・施工・
タペストリー・テント・
ガラスフィルム・
カーマーキング等

福岡市博多区博多駅南6-13-13
TEL 092-434-5822

代表取締役 **山口 幸只** (博多支部)

福岡市博多区で、大型インクジェットプリントを中心に、看板の企画や制作・施工を行っています。最近では、環境に優しいガラスの遮熱フィルムの施工やテントのクリーニングにも力を入れて頑張っています！今年の2月で13年目を迎えようとしています。同友会へは、株式会社ブルクさんの長岡常務よりお誘い頂いて入会致しました。経営に限らず、色々な勉強をさせて頂こうと思っていますので宜しく願致します。

青年経営者がつながり学び 日本を動かそう！

全国の同友会で青年部への期待が高まる中、中同協の新たな組織として「中同協青年部連絡会」が設立され、2012年2月18日に第1回目の会合を開催し、歴史的な第一歩を踏み出しました。そして、福岡同友会にも全国の動きに連動して「青年部連絡会」が設置されました。2012年10月4日～5日には第40回青年経営者全国交流会in島根が開催され、青年部の今後ますますの盛り上がり期待されます。

福岡同友会「青年部連絡会」設置 支部の垣根を越えた青年経営者の集い



青年部連絡会 幹事長 齋藤 智也さん (さいとうともや)
青年部連絡会 代表 都地 隆幸さん (つち たかゆき)
青年部連絡会 副代表 林 直輝さん (はやし なおき)

にともなったものです。この全国組織の意義は次の3つです。

- ① 全国の青年経営者が心から語り合い、友情を深め、連帯を強める。
- ② 全国の青年経営者の豊かな経験を学び合い、経営者としての資質を研磨しあう。
- ③ 全国の青年経営者が同友会運動の担い手として成長するよう経験を交流し、励ましあう。

これに従って、福岡同友会においても支部の垣根を越えた青年経営者の学びと交流の場をつくり、全国の運動と連動して同友会運動の発展と企業づくりをすすめていきます。

青年部連絡会のキックオフとし

て、2013年2月13日(水)に設立記念交流会を開催いたします。これは、当日福岡で開催される中同協青年部連絡会(全国の青年部代表者の会議)に

合わせて開催するもので、全国の青年経営者の参加も募り、3つの分科会と懇親会を行います。全研の前日ではあります。参加をお待ちしております。

(※詳細は別途ご案内)
(※福岡同友会青年部連絡会は、45歳以下の会員は全員連絡会に登録されます。行事等のご案内の対象となります)



第2回青年部連絡会の様子。各支部から選出されたメンバーが集合。

この度、福岡同友会に「青年部連絡会」が設置されました。これは、中同協青年部連絡運営委員会設立

福岡県中小企業家同友会 青年部連絡会設立記念交流会

日時: 2013年2月13日(水) 16:30 ~ 21:00 (16:00受付開始)

会場: ①分科会 TKP博多駅前シティセンター 16:30 ~ 19:00
(福岡市博多区博多駅前3-2-1日本生命博多駅前ビル8 TEL092-474-5145)

②懇親会 ホテルセントラーザ博多 19:30 ~ 21:00
(福岡市博多区博多駅中央街4-23 TEL092-461-0111)

参加費: 4,000円(分科会・懇親会)

【分科会のご案内】

第1分科会

テーマ: 経営指針書の作成と実践

報告者 (株)ティーディーエス 代表取締役 吉浦 茂弘 氏

第2分科会

テーマ: 同友会活動と企業づくり～学びと実践～

報告者 (株)ヒューマンライフ 代表取締役 中山 英敬 氏

第3分科会

テーマ: 企業成長と人材育成

報告者 (株)テリス 代表取締役 井土 朋厚 氏

第40回青年経営者全国交流会 in 島根 集い繋がり 結ばれる! 出雲の『縁』で青年経営者が日本を動かす!

第40回青年経営者全国交流会 in 島根が2012年10月4日～5日に島根県松江市で開かれ、46同友会と中同協から、985名が参加しました。福岡からは11名の会員が参加し青年経営者のつながりと学びを交流しました。

第40回青年経営者全国交流会に参加して

有限会社明永産業 取締役 明永 稔
(青年支部)



去る10月4日から5日までの2日間、島根で開催された青年経営者全国交流会(以下青全交)に参加させていただきました。私は、第8分科会の『労使見解』を次世代に託して「わが社の事業承継」に

参加いたしました。私は、現在34歳。そして父でもあり現社長は67歳というところで、事業継承を真剣に考えなければならぬ環境にあります。事務局の勧めもあり、今回の青全交がいかに自社に当てはめてみて参考になるのか? また自社に落ちし込める内容はないかを考えながら参加させていただきました。

第8分科会は、宮城同友会(株)伸電様の報告で、事業承継をする立場であった現会長と継承された側の現社長の2人の報告がありました。現会長からは、会社設立のいきさつから同友会に参加してそれをいかに会社経営に繋げていったか、そして事業を当時社員であった人に承継するにあたって労使見解を見直しそれを基に経営指針を作成し、そして経営者自身の経営姿勢を確立するのにいかに力点をおいて承継をしていったのかという報告でした。次に継承された側の現社長の報告は、この会社に入社したいいきさつから会社役員になるまでの道程の話、社長親族ではない人間が社長に就任するまで、いかに社内、お客様、協力会社、金融機関に対するコンセンサスを得るま

でに苦勞をしたかでした。それに伴い同友会をいかに活用したかを報告していただきました。

グループ討論では、全国から集まった同じ環境にいる青年経営者が、自らの悩みを話し合い、それぞれの会社の問題点、経営者としての心構えを話し合い、90分の討論がアツという間に過ぎた感じがしました。そこで感じたのはまず何よりも事業承継する立場の人間が積極的に経営指針の成文化と実践を行うこと。その際に社員、お客様等会社にかかわるすべての人をいかにみるかという労使見解の確立をして経営指針の中に入れ込むことに注意しながら作成すること。私はこの2点を学びました。福岡に帰って早速経営指針セミナーに参加して実践し、自社に導入したいと思います。それと、青全交は、全国行事で全国から約1000名近く参加しておりました。私は、同友会歴4年目ですが一番参加してよかったと思う行事でした。私が参加したのは事業承継がテーマでしたが、全体では9つもの分科会があります。もし自社の問題点に沿うテーマや興味があったら青年経営者の皆様(特に青年支部の皆様)はぜひとも参加してみたいかがある交流会だと思えます。

18 金 18:30~21:00

りょうちく支部
1月例会

- 松屋ウイング 久留米市田丸町鷹取528-3 ☎0943-73-0960
- 松尾 高生氏 株式会社松尾農園グループ 代表取締役 (久留米支部)

21 日 18:30~21:00

かすや支部
1月例会

地域に根ざすサポート事業 ～地域活性化の取組～

- 粕屋町商工会 福岡県糟屋郡粕屋町若宮2-3-1 ☎092-938-2456
- 高橋 英治氏 有限会社筑紫印刷 代表取締役 (福博支部)

高橋社長がお客様に提供している「地域密着開拓のサポート」や「生涯顧客フォローのサポート」の具体的な取組みから、自社にとっての地域(エリア)について学び、自社の課題や今後の経営のヒントを得ることが出来ます。また、「粕屋町商工会活性化実行委員会」や「まちの駅」の活動報告からは地域とのつながりの重要性を再確認することができ、経営者にとって盛りだくさんの内容となっています！

21 日 19:00~20:30

国際交流委員会
勉強会

カンボジアの経済発展によるビジネスチャンス

- エヌビーエス株式会社 4階会議室
福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833
- 大谷 賢二氏 一般社団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン 理事長
カンボジア マーケティング コンサルタント オフィス 所長

大谷賢二氏は、これまでの支援活動で得た政府省庁や現地有力者とのネットワークを活かし、2011年12月よりカンボジアビジネスツアーを実施してきました。また2012年からは、カンボジアマーケティングコンサルタントオフィスの所長として、企業経営者向けのカンボジアビジネスセミナーなどで講演を開始し、カンボジアの経済事情やビジネスチャンスについて講演をしています。今回の勉強会では、最新のカンボジア事情について学び、今後のカンボジア経済の大きな飛躍の可能性について触れます。

22 火 18:30~21:00

玄海支部
1月例会

福岡の展望とビジネスチャンス!! ～年初めによか話ば聞いてみらんね～

- 都久志会館会議室 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
- 松田 一也氏 九州経済産業局総務企画部 総務課長

自社のある地域の現在の経済状況と、将来に向かっての経済変化を企業の実例をまじえて講師の先生に語っていただき、将来の自社経営の問題点・その解決のためにやっておかなければならないことをみなさんとともに考えてみましょう。

22 火 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST1月例会

効果的な販路拡大の方策について ～バイヤーが求める商品開発と販路開拓～

- 福岡県中小企業振興センター 5階 501号 福岡市博多区吉塚本町9-15
 - 田中 大輔氏 福岡商工会議所 経営相談本部 商業・雇用支援グループ 課長代理
- 経営革新や農商工連携、新連携、6次産業化、各種施策、助成金など多くの中小企業活性化の施策はありますが、我々企業から見ると、今自社が取り組んでいる仕事内容と、どのように結びつけて良いかわからない事が多いのではないのでしょうか。田中氏は、久留米商工会議所や福岡商工会議所で多くの企業の支援・サポートを行ってこられました。企業とバイヤーの商談会の現場にも数多く立ち会われ、バイヤーが求めているもの、商談で大事だと思われるものを実践的な視点で話していただきます。

22 火 18:30~21:00

博多支部
1月例会

こころに刻まれた俺の理念 ～25年を振り返って～

- セントラルホテル福岡 福岡市中央区渡辺通4丁目1-2 ☎092-712-1212
- 長岡 秀司氏 株式会社ブルク 常務取締役 (博多支部)

創業25年、一社員として入社してから常務取締役まで、長岡氏の会社へのかかわり方を会社の歴史とともに振り返りながら、自身の心を支え続けたものを報告していただき、自社の経営を支える理念の再確認と社内での浸透について考えます。

23 水 18:30~21:50

有明支部
1月例会

支部会員探訪②『新春!異業種交流新年会』

- 割烹 福喜 大川市大字榎津834-1 ☎0944-86-5062

支部会員探訪②『新春!異業種交流新年会』と題し、参加者全員で自社の会社案内や商品パンフレット等を持ち寄っての企業PR大会を開催します。改めて、支部会員の皆様の業界や業務内容を、互いに理解し合う事を目的として開催します。

24 木 18:00~21:00

新会員フォローアップ部会
第98回新会員フォローアップセミナー

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F ☎092-686-1234

26 土 14:00~19:00

中央支部
40周年記念特別講演会

ゼロからつくる強い組織と未来 ～仲間と共に再建する、復興へのビジョンに学ぶ～

- ソラリア西鉄ホテル8階「北斗の間」 福岡市中央区天神2-2-43
- 河野 通洋氏 株式会社八木澤商店 代表取締役 (岩手同友会)

東日本大震災で一番被害が大きかった陸前高田市で事業を営む河野氏に「災害を乗り越えて(仮題)」と題して報告頂いた後、支部会員とのパネルディスカッションを行います。経営の原点、社員が育つ&地域に支えられることの意味、学びの底力など、いろいろな角度から学べます。交流会(17階「トランスブルー」 会費:5,000円 ※第1部のみ参加は無料です)

28 日 18:00~21:30

福友支部
1月例会

同友会とあなたの企業経営は不離一体 ～自社を守り伸ばす為に、同友会の歴史と理念を学ぼう～

- ANAクラウンプラザ 福岡市博多区博多駅前3-3-3 ☎092-471-7111
- 中村 高明氏 株式会社紀之國屋 代表取締役会長 (筑豊支部)

企業寿命50年といわれた時代はとうに過ぎ去り、昨年度の統計では平均6.8年となっています。その中で、同友会福友支部の企業平均寿命は17年となっており、同友会での学びによって事業の発展に寄与していることは明白です。この変化する世の中に対応していくべく、企業として、また経営者としてのあり方を本質的に考え、同友会の歩みと将来の自社の姿を重ね合わせて、さらに深く考える学びの場にしたいと思えます。

29 火 17:45~19:55(講演会)
20:00~21:35(祝賀会)

大牟田支部設立40周年
記念講演会・祝賀会

地域を活かす、人を生かす経営 ～『問う、守る、つなぐ』の実践～

- 大牟田ガーデンホテル 鳳凰の間
福岡県大牟田市旭町3-3-3 ☎0944-51-1111
- 杉本 利雄氏 有限会社ラピュタファーム 代表取締役 (嘉飯支部)

1月例会は支部設立40周年記念講演会を開催致します。記念講演会では(株)ラピュタファームの杉本利雄さんに報告いただきます。杉本さんはデパート勤務から農業を継ぎました。現在は農場・果樹園・レストランを運営され、地域の雇用を守り人材を育成することに力を注がれています。杉本さんの報告から地域を活かし、人を生かす経営について学ぶと共に、これからの大牟田支部や大牟田の地域づくりについて大いに語り合います。支部会員をはじめ、来賓の方々、他支部会員の皆さんと共に40周年を祝い、さらなる同友会運動の発展と大牟田支部の新たなスタートの場としたいと考えています。

30 水 15:00~17:00

福岡県中小企業家同友会
希望者全員65歳雇用対策セミナー

- 福岡県中小企業振興センター 403号 福岡市博多区吉塚本町9-15
- 北原 勉氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT (博多支部)

待った無しです。対策を考えましょう！

- 就業規則の変更 ● 人事処遇の考え方 (給与体系・役職・勤務等)
- 奨励金の活用 ● 個別相談

※セミナー終了後、個別相談を受け付けます。

1月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

10 木 18:30~21:00

労務管理部(経営労働委員会)
就業規則作成セミナー

第6回 『第7章 定年、退職及び解雇』

■ 天神パークビル 福岡市中央区大名2丁目8-18 ☎092-721-5530
■ 大塚 哲也氏 大塚社会保険労務士事務所 社会保険労務士(福岡支部)
労務管理部(福岡同友会経営労働委員会)では、人間尊重の経営について考え、人を生かす経営(労使見解)の学びと実践の場として、『就業規則作成セミナー』をテーマごとに分けて年間8回開催します。

15 火 17:00~19:00

NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会
1月例会

中小企業と地域のあり方について

■ 天神パークビル会議室 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-721-5530
■ 稲田 正信氏 再生クラブ
8月よりリニューアルした当委員会では、中小企業がソーシャルビジネスを学ぶことで、「地域とともに豊かになるための経営」を目指し、「セミナー」・「事例見学」・「自社の社会性報告」の3つの過程で学び合っております。
★参加費:500円

15 火 18:30~21:00

西支部
1月例会

新春企画 賀詞交歓会(名刺交換会)

~もっと知りたい、あなたのこと もっと知って、わたしのこと~
■ 天神テルラビル 4階 テルラホール 福岡市中央区渡辺5-25-18
自社の案内、商品のPRのパンフレット等持ち込み、大歓迎です。

15 火 18:30~21:00

久留米支部
1月例会

■ 萃香園ホテル 久留米市櫛原町87 ☎0942-35-5351

16 水 18:00~21:00

東支部 新春特別企画!!
1月女性増強特別例会

老舗味噌店、3代目女将のイノベーション! ~100年企業があと100年続くために~

■ ウイズ・ザ・スタイル福岡 福岡市博多区博多駅前1-9-18 ☎092-433-3941
■ 安藤 久代氏 蛭子屋合名会社 3代目女将(嘉飯支部)
社長のパートナーとして、嫁として、母としてチャレンジを続ける姿に惹かれます。社長と2人3脚でお互いに「認め合って補う」、「切磋琢磨してスキルアップする」想いが新商品を創り出しているのです。社員を幸せにしたいと願う強い想いが100年の老舗を変えようとしています。時代と共に変わらなければ老舗といえども生き残っていけない。しかし一方で変えてはいけない創業の精神や感謝の心など大切な想いを学びます。

16 水 18:00~20:30

福博支部
1月例会

■ IPホテル 福岡県福岡市博多区中洲5丁目2-18 ☎092-262-2009
■ 中島 一明氏 株式会社ティーンシステム 代表取締役(福友支部)

16 水 18:30~21:00

南支部
1月例会

楽しい職場は、社員を褒めて育て「場をつくる」ことから! ~仕事の意味や価値とは? 社員教育の本質とは?~

■ コムズホテル福岡 (旧三井アーバンホテル)
福岡市博多区博多駅前2丁目8番15号 ☎092-451-5103
■ 納富 輝子氏 有限会社一柳 取締役(福友支部)
中小企業家同友会は社員と共に育つ「共育」を謳っています。社員さんたちが、「生き生きと働き」、「仕事の意味や価値を自らの考えで見出し」、「仕事を楽しくできるように!」と、自ら行動し楽しい職場環境になったら、素晴らしいことだと思いませんか? そのためには経営者は、何を考え何を行動しなければいけないのでしょうか?

16 水 18:00~21:30

北九州地区
2013年新年祝賀会

豊屋から正真正銘の企業をめざす ~年商1800万円から40億円になる革新経営~

■ リーガロイヤルホテル小倉 北九州市小倉北区浅野2-14-2 ☎093-531-3111
■ 橋高 勝人氏 株式会社キツタカ 代表取締役(東京同友会)
なぜ斜陽産業の中で伸び続けるのか!
今回の記念講演の打合せで株式会社キツタカを訪問しました。豊市場が大きく衰退する中で、成長を続ける秘密は何か。熱く語る橋高さんのエネルギーと行動力に、時間の経つのも忘れて聞き入ってしまいました。私たちを取り囲む経営環境は決して良い状況ではありません。2013年を飛躍の年にするためにも、橋高さんの体験報告から素直に学び自立型企業づくりへの一助にしましょう。

17 木 18:20~21:00

筑紫支部
1月例会

今までになかった、新しいスタイルを求めて!

■ 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-923-0416
■ 淀川 洋子氏 ナガタ建設株式会社 取締役(筑紫支部)
新しく会社をたてられて、新規事業を始められた淀川さんに、設立までの苦労話やこれからの展望をお話いただきます。

17 木 18:00~21:30

筑豊地区
2013年新年祝賀会

大阪の元気企業に学ぶ 企業づくりと育て

■ のがみプレジデントホテル 飯塚市新立岩12-37 ☎0948-22-3840
■ 藤原 義春氏 株式会社藤原電子工業 代表取締役
(大阪同友会南東ブロック長)(大阪同友会八尾支部)
家電向けプリント基板のプレス加工業として1993年に創業。海外との価格競争にさらされながら、パリが出ない超高精密度加工法を確立。オンリーワンの技術で、自動車や携帯電話向け市場を拓く。検査しながら自動生産するシステムづくりに着手し、その足掛かりとして産業用ロボットづくりへの挑戦が始まった。ロケットの町が東大阪なら、八尾はロボットの町に! 藤原氏は、中小企業振興基本条例の先進地・八尾市の中小企業振興審議会委員も務める。

17 木 18:30~21:05

青年支部
1月例会

2013 新春「ホップ・ステップ・リーダーシップ!!」 ~社員から社長になるまでの軌跡~

■ タカクラホテル福岡 福岡市中央区渡辺通2-7-21 ☎092-731-1661
■ 山川 輝樹氏 株式会社西日本ボーリング工業 代表取締役社長(青年支部)
ゼロから入社し、会社組織の枠の中で社員から管理職、管理職から社長への環境の変化を基にセクション長としての役割、またその中で、リーダーシップとは何かを報告してもらい、真のリーダーシップと自社の社員教育に生かしてもらうことが目的です。それぞれが考えるリーダーの条件を具体的に出し合うことで、様々な形のリーダーシップのあり方を学び、身につけ、自社に持ち帰ってもらい、実践してもらいます。

18 金 18:30~21:00

女性部委員会
1月勉強会

男女格差101位の日本、女性が活躍できる社会をつくるために私たち経営者ができること。

■ G・Gソーラービル10階会議室 福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-714-0451
■ 村山 由香里氏 株式会社アヴァンティ 顧問(中央支部)
スイスの国際非営利法人「世界経済フォーラム」が毎年発表しているジェンダーギャップ指数で、日本は世界135か国中101位です。差別なく暮らしているつもりでも、政治も経済界も、決定権ある立場にいるのは男性ばかり。世界レベルで見ると男女格差の大きい国です。経済停滞が20年も続くなかで、女性の活躍について、最近、政府や経済界から盛んに言われるようになり、日本再生戦略の一つに女性の経済的活躍推進が盛り込まれています。私たち中小企業経営者から、社会を変えることができないうのでしょうか。1月の勉強会ではいまの日本の現状を認識し、私たち経営者ができることは何なのかをみなさんと一緒に考えたいと思います。男性会員も女性会員もふるってご参加ください。

新商品ご紹介

株式会社 イナバ 後継者 いなば 稲葉 ゆうだい 雄大 (久留米支部)

今までなかった！ 子供の手にもぴったりフィットする軍手“幼児用軍手”

一般的にホームセンター等で販売されています軍手は7ゲージ軍手といままで編み目の大きな軍手です。ゲージとは1インチあたり何本の針で編んでいるかという事なのでこの場合は7本です。当社ではその倍近い細かさの13ゲージ軍手で更に伸縮繊維を含むフィット性の高い軍手を中心に製造をしてきました。

ある日子供用軍手を購入されたお客様より「子供がまだ小さいので更に小さい軍手はないでしょうか？」とのお問い合わせがありました。そのお問い合わせをいただいて以降、ある時期になりますと同じようなお問い合わせを多数頂く



稲葉さん(右)と一緒に商品を開発、製造を行っているお父様(左)

ようになりました。私ども軍手の業界では今までそんな小さな子どもたち用の軍手なんて市場は存在しないと勝手に判断しその商品が市場にほとんどない状態でした。ですがこの商品を製造するとすると専用の機械から用意しないと出来ません。それまでの子供用軍手では単純に指の長さを変えてサイズを調整していました。各指の横幅を編む針の本数は固定で、変えることが出来ないのです。しかし試しに専用で改造した機械を導入するととても小さいサイズの幼児用軍手は編み目の細かい13ゲージとの相性が非常に良かったのです。

近年、幼稚園や保育園では体験学習が必ずといっていいほど行われ



実際に幼児用軍手をはめて稲刈りをする様子

ているようです。特に「芋掘り体験」は多くの幼稚園で実施されていることも分かってきました。

また幼児用軍手の販売チャネルとしてはインターネットでの

の直売という形を取っております。そちらではオーダーメイドのプリントも行っており、そちらも好評をいただいております。幼稚園のロゴマークや園児さんおひとりおひとりの名前まで出来る範囲での、あらゆるオーダーをお受けしております。スベリ止め付きのタイプも取り扱いを開始し様々なカラーのポツポツスベリ止めを展開していく予定です。

今後はご購入頂いた幼稚園さま、保護者の方々の声も積極的に取り入れつつ、より改良を行っていただけると考えております。



かわいいプリントや多種カラーのスベリ止めなどバリエーションも豊富です

株式会社 イナバ

〒830-1111
久留米市北野町千代島313-4
TEL 0942-78-5378

<http://www.gunte-kobo.com>

2012年度 第8回理事会報告

■ 日時：2012年12月12日(水) 15:00～18:00

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 501会議室

■ 出席：41名(欠席12名) 出席率：77%

■ 議長：林田副代表理事

□ 開会あいさつ(田浦代表理事)

20歳の女性リーダーが、将来がある若者こそ選挙にいかなくてはいけないという話をし、立候補したらその選挙区の投票率が高かったという話を聞きました。もうすぐ選挙です、皆さん投票しましょう。

当社は、12月が決算です。日次決算を始めて2ヶ月になりますが、組織の長は変動費の部分に自分が影響を与えられるものがあることが分かり、目の色が変わってきました。このようなことを通して、社員は商売の真利がわかってくると思います。本日は、今年最後の理事会です。よろしくお願ひします。

■ 報告事項(1)

1. 前回理事会以降の全国・全県的な活動

- ①福岡同友会、県・地区・支部活動(事務局長)
会員参加1107名、ゲスト113名の参加。
- ②テレビ録画映像
福岡県知事へ政策提言を行った際のニュース報道を視聴。
- ③2012年度衆議院選挙候補者への中小企業憲章「国会決議」に関する質問の回答状況
回答状況を確認

2. 会員企業の動き(事務局長)

- ①経営革新計画認定企業
経営革新計画認定企業、会員企業1社(有ニューげんかい)報告(累計319社)

■ 審議事項

1. 支部繰越金の使途について

- 各支部からの意見を確認した上で審議し、全研1万円(全国行事補助より5000円・支部繰越金より5000円)、記念式典3500円の参加促進費を賛成多数で承認。
(意見)
 - 賛成で一致。ただし、全研は2日間参加することをしっかり呼びかけるべきである。
 - 全研補助は賛成。記念式典への補助は、交通費補助に限定して欲しい。
 - 「3500円の補助は、飲食費の補助となるが、それは今後認めるのか」という質問があり、これは理事会の協議を経て、50周年という特別な行事であるという整理をし、今回限りとすることを確認。
 - 全国行事が県内開催の場合の参加促進費は、5千円と決まっている。50周年行事であるため、今回限りであることを確認。
- ※全研は2日間参加するように呼びかけることを確認。

2. 活動総括と次年度にむけての流れ

- ・1月26日(土)に全県「現・新理事研修会」開催、第10回理事会を2月20日(水)に変更して開催する日程の確認。
- ・1月26日の研修は、出席できない場合代理を立てることを確認。
- ・40周年記念事業を行う中央支部については別途対応を検討。
- ・予算組みについては、各支部の実績を確認し、来期以降の予算策定に反映することを確認。

3. 次年度スケジュールの組み方について

- ・第1週に支部役員会、第2週に地区幹事会、第3週に正副代表理事会議、第4週に理事会を開催するというスケジュールに変更することを確認。

4. 組織運営規定

- ・地区及び支部運営細則、委員会運営細則、正副

代表理事会運営細則を廃止し組織運営規定に統一することを承認。

- ・「組織運営規定」は「組織運営規程」とし、その下にあるものはすべて細則とすることとなりました。

5. 入会審議(一般社団法人)

- ・一般社団法人住宅建築新聞社の入会資格について確認。次回地区幹事会にて入会承認とする。

6. 除籍、退籍の審議

- 除籍1名を承認。

7. 創立50周年事業関係

- ①第43回全研参加目標
各支部の参加目標を確認しました。2日間しっかり参加することを願ひします。また、各支部よりグループ長の選出を願ひします。福岡だけで70名程度必要です。全国大会参加経験者、理事・役員経験者の方を推薦してください。
- ②50周年記念式典参加目標
実行委員を各支部1名選出してくださいと先月依頼して、三支部からまだ選出されていません。支部から1名以上選出を願ひします。また、各支部の参加目標数を確認しました。
- ③50周年記念誌
広告募集については、協力お礼と最終要請。

■ 協議事項

1. 会員増強のとりくみ

- ・増やす人を増やすとりくみを提起し確認。期首から149名の入会者がいますが、紹介者は107名となっており、全会員のうち、5.4%です。少なくとも2割の会員さんが仲間づくりに携われば、もっと違う成果が現れます。
- ・退会申請者(入会後日の浅い方)にあすなる塾の参加を勧め、慰留につなげていきましょう。支部三役は退会申請者の状況を把握していると思うので、案内を送って良い方については、12月20日までに事務局まで連絡をください。
- ・仲間づくりが不得手な方が多いと思いますので、入会促進のツールを作って行きたいと思います。
- ・増強 → 仲間づくり という言葉を使っていきたいと思います。
- ・新会員フォローアップに参加した会員さんの定着率はいいのに、現在3割くらいの新会員さんしか参加していません。ぜひ声かけをください。
- ・会員募集ポスターは、持ち帰って会社に貼ってください。
- ・各支部12月、1月例会に、代表理事が回りますので、よろしく願ひします。会員の皆様にも呼びかけ文を配布します。
- ・V90について、必ず達成することを確認しました。

2. 役員選考の考え方

- ・資料に沿って提案があり、プロジェクト結成の提起がありました。次回以降に詳細な資料を提出し、継続協議していくこととなりました。

3. 本部、室、委員会関係

- ①広報情報化本部(HPのリニューアル)
リニューアルする旨、報告があり、次年度に向けて予算計上していくことを確認。
- ②役員研修室(特別企画)
「わたしが歩んだ80年と同友会運動」というタイトルで、赤石相談役が報告。ぜひご参加を。

③政策金融室(電力料金および景況調査)

- ・電力料金についてのアンケートを、e.doyuを通じて流しています。これは、九州全域でのアンケートになっています。回収できれば、各新聞社に発表します。また結果を受けて1月の中同協幹事会で協議を行い今後の動きをつくっていきます。
 - ・現在10～12月の景況調査を行っています。多くの回答をお願いします。1月7日に分析会議を行います。
 - ・金融円滑化法の関連資料は読んでください。
- ④中小企業憲章推進本部
- ・10月に県内初の理念型条例が、直方市で制定されました。
 - ・大学との関係づくりの中で九州情報大学が、同友会に入会されました。中小企業観や労働観を育て、共育という観点で、これからさらに運動を進めていきます。
- ⑤女性部委員会(1月18日金曜日に例会開催、ご案内)
- ⑥NPO交流・SB特別委員会(1月15日に例会開催、ご案内)

■ 報告事項(2)

1. 地区・支部の活動報告と案内など(参加呼びかけ)

- ・大牟田支部より、1月29日(火)支部設立40周年記念講演会案内。ラピュタファーム 杉木氏(嘉飯支部)報告予定。
- ・筑豊地区より、1月17日(木)新年祝賀会開催案内(株)藤原電子工業 代表取締役 藤原氏(大阪同友会)が報告予定。
- ・福岡地区より 障がい者施設の商品展示案内
- ・北九州地区より、1月16日(水)新年祝賀会開催案内(株)キツタカ 橋高克人氏(東京同友会)が報告予定。

2. 中同協九州沖縄ブロック

- ・第7回支部長・支部活動研修交流会(2013年2月23日～24日 長崎)予案内

3. 対外活動

- ・後援承認 2件
- ・SMILE AGAINの楽譜ができました。教育出版社が作成しています。希望者は事務局まで。

□ 閉会あいさつ(中山代表理事)

本日の理事会で、全研と記念総会の参加目標数を確認しました。なんとでも、1月末に2300名にすることを、理事として確認しました。まだまだ達成できる数字だと、私は思っています。

金融円滑化法の期限が切れます。リスクを申請している企業が県内7千社、そのうち2100社が経営改善が望めない倒産予備軍であるそうです。改善計画が立てられない企業が多いと聞きます。経営計画が立てられない企業が周りにたくさんいるということです。経営計画を立て、組織経営を目指していくことこそ、われわれが訴えていることです。「このままでは危ないよ」という思いを、周りの経営者に伝えていきましょう。今回で今年の理事会は締めくくりますが、来年にしっかりとつなげていきましょう。

〈 訃 報 〉

ひびき支部所属の中尾 茂松様(株)エボックス 代表取締役が、12月17日に病氣療養中のところ、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。



地域 No.1 の真心を目指す
ペット葬祭 エムシステム
福岡県中小企業家同友会会員



代表
宮田 四朗



〒814-0161 福岡市早良区飯倉2丁目27番11号
TEL.092-841-6155
FAX.092-404-6544
携帯:090-9079-9074
E-mail:s.emu510@mist.ocn.ne.jp
URL http://emuh-system.com/



有限会社 かが事務所

取締役 古賀 兼吉

〒811-3404 宗像市城西ヶ丘4-3-5
TEL 0940-33-7655
FAX 0940-33-7645

【会社概要】

- 経営者のための「生命保険」の代理店業務
- 宗像地区に根ざした「社会保険労務士」業務
- 不動産賃貸業務 (アパート・マンション・駐車場)

新里行政・経理事務所 新里、八尋、佐藤、藤合同事務所

所長
新里 良雄

経理、会社法人登記、不動産登記、建設業等許認可、社会保険・労働
保険、多重債務相談等 司法書士・行政書士、社会保険労務士の連
携で、迅速かつ確実に申請手続が出来安心。

〒812-0061 福岡市東区筥松4丁目17番40号
TEL 092-292-3190 FAX 092-292-3193
e-mail アドレス shinzato-jimusho@iris.ocn.ne.jp

福岡市で頭痛といえば、 大濠パーククリニック。



福岡市中央区で頭痛を診ている大濠パーククリ
ニックは、内科、脳神経外科、産婦人科、心療内科、
漢方内科で高濃度ビタミンC・プラセンタ・めまい・
無呼吸等を診ます。

大濠パーククリニック

〒810-0051
福岡市中央区大濠公園2-35 THE APARTMENT 2階
TEL:092-724-5520 FAX:092-724-5521
URL:http://www.ohori-pc.jp
e-mail:info@ohori-pc.jp

院長
八谷 俊朗



年中無休毎日お昼 14:00～深夜1:00まで営業してます
■セット料金60分■ PM14:00～ 3,000円 PM15:00～ 4,000円
PM18:00～ 5,000円 PM21:00～ 6,000円
完全明朗会計で
営業しております。
※All 福岡市中央区中洲4丁目2-18 水上ビル2階
TEL:092-271-6123 代表取締役 立花 武久

リフォーム・新築からトータルインテリア 株式会社 インテリア三光

創業
48周年



健康インテリア®
SANKO

代表取締役 社長

鳥谷 哲弘 (博多支部)

〒812-0063 福岡市東区原田4丁目19-12
TEL 092-623-3535 FAX 092-623-3913
携帯 090-2084-8888

フリーダイヤル
0120-53-3535

E-mail : tetsu@interior-pro.co.jp
http://www.interior-sankou.com

私たちが笑顔をお届けします

訪問介護・ケアプラン作成

ケアステーション 向日葵

● 箱崎本部ステーション
〒812-0053 福岡市東区箱崎6-11-9-1 階

● 博多ステーション
〒812-0895 福岡市博多区竹下4-11-7カハイリバー竹下2階

● 城南ステーション
〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-53 TECHIII 102 号

送付連絡先 本部〒813-0003 福岡市東区下原 4-1-14

株式会社まきもと

〒812-0053 福岡市東区箱崎6丁目11-9-2階
URL : http://www.carestation-himawari.com/

0120-965-848

開業3年未満の士業の方に限定
毎月先着3名様限定で無償提供

www.shigyofukuoka.jp

< 福岡士業の会 > “九人の侍キャンペーン”

セキュリティ対応Webサービスを無償提供!

- ①お仕事に最適なJPドメイン名の利用
- ②ご希望の士業専用Webサイトの利用
- ③集客UPのSEO対策機能とアクセス解析機能
- ④信頼UPに最適なビジネスBlog情報発信機能
- ⑤安全なSSL対応お問い合わせ入力フォーム
- ⑥安全なSSL対応情報セキュリティ対策機能
- ⑦安心なWebサイトデータ自動バックアップ

- ・士業は究極のサービス業です!
- ・士業の商品はあなた自身!
- ・必要なのは自己PRカアップです!

株式会社インフィニティ・092-714-2500・藤藤純

本物は「違う!!」 販売促進戦略ポスティング

株式会社 ポスティクル Tel: 092-402-7739

〒816-0931 福岡県 大野城市 筒井 2-11-5 デザインから配布まで

九州北部圏 行政広報紙等配布事業支援企業
大野城市 広報「大野城」配布業務指定業者

※本当に悩んでいる方だけお読み下さい。
実例：鳴かず飛ばずの自社制作チラシで
頑張っていた業者A。1ヶ月の予約数は
5件。弊社との取引開始後15件/月間
弊社戦略デザインに切り替え後、2ヶ月
先まで予約殺到。配布一時中止する状況
その理由はデザインに秘密があるのです。

POSTICLE

健康ルネッサンス ～自らの変革は健康への第一歩～

- 1.人間ドック
- 2.生活習慣病
- 3.定期健康診断
- 4.特殊健康診断
- 5.各種がん検診
- 6.保険診療

福岡市博多区店屋町4-15

電話番号 092-272-2391

MIF MEDICAL INFORMATION HEALTH FOUNDATION